

総合的な学習の時間 学習指導案

藤井寺市立 道明寺東小学校

指導者 高橋 良真

1. 日 時 令和7年9月26日(金) 第5時限(13:45~14:30)
2. 場 所 第4学年1組教室
3. 学年・組 第4学年1組(28名)
4. 単元名 めざせ!持続可能な住みよい社会 ~ごみや水について考えよう~
5. 単元の目標

【知識及び技能】

- ・調べる観点にあった資料から必要な情報を見つけることができる。

【思考力, 判断力, 表現力等】

- ・ごみや水の課題を知り、調べた情報を目的に合わせた方法でまとめることができる。

【学びに向かう力, 人間性等】

- ・ごみの処理や安全な水を今後も社会全体で使用するために自分たちができることを考え伝えようとする。

6. 単元の評価規準

【知識・技能】

- ・調べる観点にあった資料から必要な情報を見つけている。

【思考・判断・表現】

- ・ごみや水の課題を知り、調べた情報を目的に合わせた方法でまとめようとしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・ごみの処理や安全な水を今後も社会全体で使用するために自分たちができることを考え伝えようとしている。

7. 単元で取り上げる言語活動

- ・自分たちの考えを他のグループに分かりやすく伝える。
- ・他のグループから聞いた話を振り返り、自分たちの考えを再考する。
- ・隣の学級の違うテーマを調べたグループに自分たちの考えを分かりやすく伝える。

8. 教材観

本単元では、子どもたちがごみや上下水道に関する問題について持続可能な循環型社会の実現をめざすために自分たちがどんなことができるかを考え、たくさんの人に伝えることを目的としている。まず、それぞれのテーマでどんな問題があり、問題を解決するために自分たちができることを考える。次に、自分たちの考えを学級内で交流し再考する。そして、自分たちの考えを隣の学級に伝え合う。最後に、学校内、地域、保護者に啓発する。

このように、自分たちでもすぐに取り組めることをテーマにしているところに本単元の魅力がある。

9. 児童観

子どもたちは3年生の時の総合的な学習の時間で藤井寺一番街商店街の魅力をポスター等で発信したり、食品ロスの問題について調べ自分たちができることを授業参観の時に保護者に主張したりしてきた。その際、グループで協力しながら調べたり発表の準備をしたりするという経験をしてきている。

また、4年生の社会科の「健康な暮らしを守る仕事」の学習では、ごみや上下水道の問題に対して公共施設で働く人たちが解決に向けて取り組んでいることを学んだり、問題解決に向けて自分たちにできることを考えたりしてきた。

10. 指導観

本単元では、ごみ・上下水道の問題を解決するために自分たちのできることは何かを考え、学校・地域・保護者に伝えるという流れで学習を進めていく。まず、調べたい課題別に6つの班に分け、伝えたい内容や発表の手順などのイメージを共有する。次に、探究的な学びができるように図書館資料やインターネット等を活用して主張に合う情報を集めスライドや発表内容を考える。そして、各学級内・学級間で調べたことを互いに発表し合う。最後に、他学年や地域・保護者にも自分たちの主張を意識してもらえるようにポスターやちらしなどを作成して自分たちの考えを伝えるようにする。この取り組みによってみんなで協力して対処することで、思いが形になるという経験ができるようにしたいと考えている。

11. 単元の指導と評価の計画(全21時間)

次	時間	学習活動	評価規準と評価方法		
			知識・技能	思考・表現・判断	主体的に学習に取り組む態度
第1次	見通す(2)	Ⅰ 単元の学習の見通しをもつ。 ①ごみの処理のしかたについてふりかえり、課題を見つける。 ②上水道や下水の処理のしくみについてふりかえり、課題を見つける。	①②ごみ・上水道・下水についての課題を理解することができる。 (行動観察)	①②ごみや下水・上水道の設備を使用し続けるためにどうすべきかを考えることができる。 (行動観察)	①②ごみや下水、上水道の現状から課題を見つけようとしている。 (行動観察)

2 ごみや水の処理のしかたの課題を
解決するために自分たちにできる
ことを調べる。 【言語活動】

【図書館活用】

各テーマの課題や取り組みに
ついて図書資料等で調べる。

③～⑨グループで現状、取り組みなどについて調べ、自分たちができるとや伝えたいことを共有しスライドの作成や発表原稿を作る。

⑩ クラスで調べた内容が同じ班同士で発表し合う。(本時)

⑪⑫ ⑩での発表をふり返し、隣のクラスへの発表の準備をする。

⑬⑭ 調べたことを隣のクラスで発表する。

⑮ 発表のふり返しをした後、道東フェスティバルで保護者や地域の人、他の学年の人にどのように伝えるかを考える。

③～⑨主張内容や主張を裏づける資料の内容を理解することができる。
(行動観察)

⑩相手の発表内容や相手からの意見を理解できる。
(行動観察)

⑪⑫前時で出た意見と主張の関連を見つけることができる。
(行動観察)

⑬⑭違うテーマの発表の主張や主張に対する根拠が理解できる。
(行動観察)

⑮多くの人に伝える方法を理解できる。(行動観察)

③～⑨主張に応じた資料を集め発表の準備をすることができる。
(ワークシート)

⑩発表内容を理解し自分の意見を伝えることができる。
(行動観察)

⑪⑫前時の意見を参考にして発表内容を再構築することができる。
(ワークシート)

⑬⑭質問や感想を話したり質問等に返答したりすることができる。(行動観察)

⑮多くの人に伝える方法の中からどの方法がよいかを考え選択することができる。(行動観察)

③～⑨聞き手に主張を賛同させるために図書資料等を探し発表の準備をしようとしている。
(行動観察)

⑩相手の意見を聞き自分の主張をよりよいものにしようとしている。
(ワークシート)

⑪⑫前時の意見を取り入れよりよい発表にしようとしている。
(行動観察)

⑬⑭発表に対して質問や感想を話そうとしている。
(行動観察)

⑮よりよい伝達手段を考えようとしている。
(行動観察)

第3次	ふり返る(6)	③ ごみや水の課題についてまとめ、自分たちができることや知ってほしいことを掲示物にする。 ⑯～⑳今まで作成したスライドを活用しながらポスターを作り、掲示する。 【言語活動】 ㉑ 持続可能な社会の実現をめざして考えたい内容を伝え、自然災害についての調べ学習をすることを予告する。	⑯～⑳掲示物を作成する意図を理解できる。 (行動観察) ㉑ 自然災害の内容についてどんな影響があるかを理解することができる。 (行動観察)	⑯～⑳主張を実現するために効果的な掲示物を考え作成することができる。 (成果物) ㉑ 自然災害がもたらす影響について考えることができる。 (行動観察)	⑯～⑳主張に合った掲示物を作ろうとしている。 (行動観察) ㉑ 自然災害について調べようとしている。 (行動観察)
-----	---------	--	---	---	---

12. 本時の展開

(1) 本時の目標

○同じテーマの班同士で発表する活動を通して質問や感想を伝え合うことができる。【思・判・表】

(2) 本時の評価規準

○他者の発表に対して質問や感想を持とうとしている。

○他者からの質問や感想に対して返答をしようとしている。

(3) 本時の判断基準

十分満足できる状況	おおむね満足できる状況	支援を要する子どもへの手立て
主張に応じた質問や感想を伝え合い、 <u>他者からの質問や感想に返答することができる。</u>	主張に応じた質問や感想を伝え合うことができる。	・自分たちの発表との共通点等に気づけるように助言する。 ・聞き取りメモを使って感想を伝えるように助言する。

(4) 主体的に取り組む子どもの姿

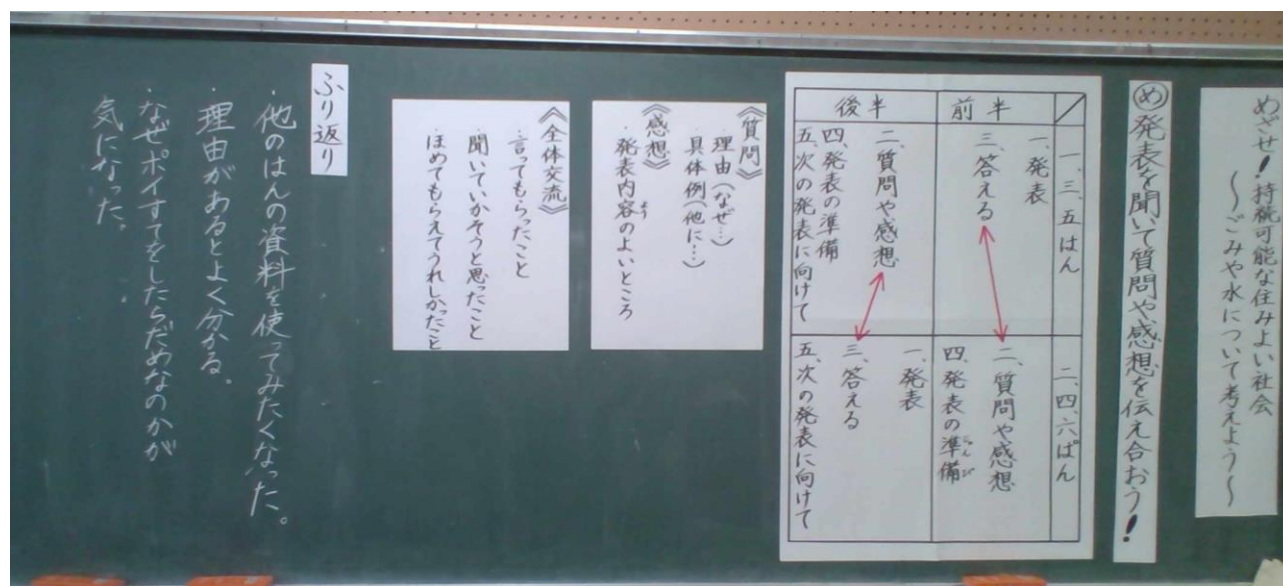
観点	めざす子どもの姿	手立て
自己決定力	・質問や感想のやり取りを活かして、再構築に向けての課題を立てている。	・聞き取りメモを使って自他の班との共通点や相違点を整理させる。 ・聞き取りメモを使って交流させる。
他者とつながる力	・他の班の主張に対して質問や感想を持ち、自分の考えを伝えている。	

(5) 本時の学習過程

時	学習活動(○) 予想される子どもの意見(・)	指導上の留意点(○) 教師の主な発問(「 」)	評価規準(評価方法)
3	○本時の内容、聞き取りメモについて知る。	○自分の班との共通点や相違点に注意しながらメモをとることを確認する。	
発表を聞いて質問や感想を伝え合おう！			

36	前半と後半の2回に分けて行う。 ○調べたテーマが同じ班の発表を聞き、聞き取りメモを書く。 ○質疑応答や感想を話す。 ・ごみの分別をするといいいことが分かったけどなぜごみの減量につながるのかをもう少し聞いてみたいな。 ・水をだしっぱなしにして顔を洗っているから、細めに止めようと思う。 ・給食で使った食器は紙でよくふいてから返すと水がよごれずにすみそうだな。 6 ○質問や感想を通して次の発表にどう活かすかを考え、発表する。 ・他の班の使っていた資料を見せてもらって、自分たちの班の発表にも使いたい。 ・理由が書けていなかったから、理由を付け加える。 ・質問されたことを調べて、発表内容に付け加えたい。	「発表を聞きながら、参考になるところや、疑問に思ったことをメモしましょう。」 ○机間指導をしながら観点に合ったメモがとれているか確認し、とれていない子どもには感想を中心に書くよう促す。 ○発表者は質問に対する答えや感想に対して一言かえすよう助言する。 ○感想は理由も合わせて話すように伝える。 ○質問や感想を通して、自分の班の発表にどのように活かすのかを具体的に考えるように助言する。	【思・判・表】主張に応じた質問や感想を伝え合うことができる。 (行動観察)
-----------	---	---	---

13. 板書計画



14. ご高評価欄